

レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和3年9月22日	使用開始日	
登録診療科	乳腺外科	申請医師	小西 宗治 化学療法委員会承認# 年 月
レジメン名	【分割】キイトルーダ+PTX④		
疾患名	乳がん	適応の備考	PD-L1陽性(CPS≥10)のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌
適応分類	進行再発		
1コース日数	分割レジメン 21日間(1コース84日間)	総コース数	コース 催吐性リスク 軽度

抗がん剤投与量・投与日 ||キイトルーダ200mg/body day1 パクリタキセル90mg/m² day1、8
 治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	点滴静注																								
2	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	キイトルーダ	200 mg / body	30 分	●																				
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body		●							●													
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●							●													
		ファモチジン注20mg	1 本 / body			●						●													
4	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●							●													
	点滴静注	パクリタキセル	90 mg / m ²	60 分	●							●													
5	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●							●													
	点滴静注																								
6	経口投与	レスタミンコーワ錠	5 錠 / body		●							●													
	パクリタキセル投与の30分前																								

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

- キイトルーダ+PTXの分割レジメン:①~④の全84日間を1コースとする。キイトルーダは200mgを3週に1回投与、パクリタキセルは3投1休
- キイトルーダ:0. 2~5 μ mのインラインフィルターを使用して投与する。
- キイトルーダ:希釈後の最終濃度を1~10mg/mLとする。
- キイトルーダ:Infusion reaction経験例では次回より投与前1.5時間(±30分)に以下の薬剤で前処置を行う。
 - ・レスタミン5錠経口投与(又は同等の抗ヒスタミン薬)
 - ・アセトアミノフェン500~1,000mg経口投与(又は同等の解熱剤)
- パクリタキセル:前投薬としてレスタミン5錠の内服、デキサート注、ファモチジン20mg静注が必要。
- パクリタキセル:DEHPフリー(フィルターつき)点滴セット使用。0.22ミクロン以下のメンブレンフィルターを使用し投与すること。
- パクリタキセル:アルコール不耐症がないことを確認する。